

煮炊きやタクシー燃料に使われる液化石油ガス（LPG）市場が三重苦に見舞われている。足元の販売量は前年比で12%減。新型コロナウイルスの感染拡大でボイラー燃料としての使用が減り、外食需要の落ち込みでレストランの厨房での消費も減った。特に外出自粛が広がりタクシー向け需要が鈍い。元売り各社は輸入を減らすなどして需給調整に懸命だ。

日本LPガス協会（東京・港）によると、1～6月のLPG販売量は計約688万5千ト。前年同期比で7%減った。6月単月の販売量は約81万6千トと前年より12%減少した。100万トを割るのは2カ月連続。生産活動が鈍り、工場や

## LPG、外出自粛で苦境



**工場・外食・タクシー向け**

プラントの稼働が落ち込んでいる。LPG車向けのLPG需要が細った。販売量は6月で約3万7千ト。外出自粛でレストランから客足も遠のき、煮炊きに使う量も減った。需要の落ち込みが自立したのはタクシー向けだ。現在国内のLPG車の8割以上をタクシーが占め

40ト。単月のデータを迎える2002年4月以降で最低の水準だった5月の約2万2千トよりは持ち直したが前年同月比で4割減だ。新型コロナウイルスで外出を控

## 6月販売12%減 元売り、輸入減らす

える人が多く、タクシー利用が減った。都内の40代の女性運転手は「足元の旅客需要は4割減。外国人観光客の利用も少ない」と嘆く。東京五輪・パラリンピックの延期もタクシー業界にとって痛い。東京ハイヤー・タクシー協会の担当者は「期待していた五輪需要も蒸発してしまった」とため息をつく。

消費冷え込みを受けて元売り会社は対応に迫られている。国内元売りの担当者は「当面、輸入を減らして需給を調整する」と話す。

需要減はアジア地域で広がっている。暖房用需要が開始するもまだ先で価格は低水準で推移する。中東産LPGの8月積み価格はプロパンで1365ドルと年初比4割安い。

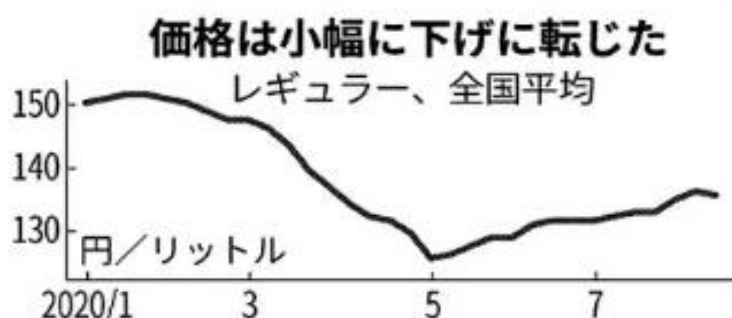
一方、米国のプロパン価格は1ト263ドル。前年年初比で1割高い。3月の底値から2倍以上高くなる。米国では17年ごろから石油化学製品を作る工場の稼働が相次ぎ原料となるプロパン需要が旺盛なためだ。

日本が輸入する際の指標となる中東産価格は競合する米産の影響を受けやすい。米産の値上がりの中東産価格の強材料にもなる。「LPGの国内需要が弱いまま、消費が回復している米産につられて価格の上昇スピードが早まる可能性がある」（国内アナリスト）との指摘があった。

(山本裕二)

## ガソリン価格 14週ぶり下落

店頭135.5円



(出所)資源エネルギー庁

資源エネルギー庁が19日発表した17日時点のレギュラーガソリンの店頭価格(全国平均)は前週より0・1円安い135・5円だった。夏の需要期にもかかわらず、新型コロナウイルスの感染再拡大で消費が低迷している。小売価格を下げ

た給油所が多かったようだ。14週ぶりの値下がりとなった。22都道府県で値下がりし、北海道などで下落が目立った。値上がりは鹿児島などの20府県。千葉などの5県が横ばいだった。最高値は長崎の144・7円で、最安値

は徳島の同128・4円だった。夏のガソリン商戦も終盤に突入した。新型コロナウイルスの再拡大で外出を控える人が増加。車での移動が減り苦戦している給油所が多いようだ。東京都練馬区のスタンド店長は「足元の販売量が減っている。例年よりお客さんも少なく暇だ」とため息をつく。

原油の調達コストが小幅に上昇したのを受けて、元売り各社の一部は今週、卸値を0・5円引き上げると系列の給油所に通知した。

調査を担当する石油情報センターは「来週は小幅に値上がりする」とみている。

## BASF・出光合併の工場閉鎖へ

化学世界最大手の独BASFは19日、出光興産との合併会社が運営する石油化学製品製造の千葉工場（千葉県市原市）を12月に閉鎖すると発表した。国内市場の縮小やアジアでの供給過剰で事業環境が悪化したため。工場閉鎖後、合併契約を解消する。同製品に関連する事業はBASFが引き継ぎ、出光は撤退する。